



青年委員会だより



平成 16 年 7 月 1 日 (第 53 号)

(社) 青森県建築士会青森支部青年委員会

建築家 渡辺真理・木下庸子 講演会開催のご案内

昨年に引き続き、建築設計の第一線で活躍されている建築家 渡辺真理・木下庸子両氏が平成 16 年 8 月 4 日(水) 再び来青されます。今年も昨年同様、気楽な雰囲気でお話の伺いたいと思います。

そこで皆様には冷たい生ビールやお飲物でも飲みながら、両氏の建築に対する熱き思いに触れていただきたいと思います。皆様に多数、ご参加していただきたく、ご案内申し上げます。

日 時 平成 16 年 8 月 4 日(水) 午後 2 時より
場 所 森内建設 NOVITA ビル 青森市新町 1 丁目 11-15(さくら野デパート向い)
会 費 500 円
締 切 平成 16 年 7 月 31 日(土)

募集人員は会場の都合上、先着 30 名程度までとします。

また、駐車場がありませんのであらかじめご了承ください。

連絡先 Craftwork 建築計画工房 (板垣) まで
TEL & FAX 017-726-2792 E-Mail itagaki@craftwork2002.jp

■PROFILE

渡辺 真理(わたなべ・まこと)

1950 年生まれ/1972 年京都大学工学部建築学科卒業/1976 年同大学大学院修士課程修了/1979 年ハーバード大学デザイン学部大学院修了/1981 年磯崎新アトリエ/1987 年木下庸子と共に設計組織 ADH 設立/1996 年～法政大学教授/2000 年「NT」にて JIA 新人賞受賞(新建築住宅特集 1999 年 10 月号に掲載)



Mikoto Shin Watatani

木下 庸子(きのした・ようこ)

1956 年生まれ/1977 年スタンフォード大学卒業/1980 年ハーバード大学デザイン学部大学院修了/1981～84 年内井昭蔵建築設計事務所/1984 年木下庸子建築設計室設立/1987 年設計組織 ADH と改称/1989 年「湖畔の住宅」で第 5 回吉岡賞受賞(新建築住宅特集 1988 年 7 月号に掲載)/2000 年「NT」にて JIA 新人賞受賞(新建築住宅特集 1999 年 10 月号に掲載)



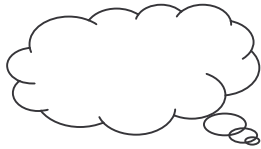
Yoko Kuroshita Watatani

■受 賞

- 1988 SDレビュー入選(湖畔の住宅)
- 1989 吉岡賞(湖畔の住宅)
- 1991 商環境デザイン賞奨励賞(OMO NORMA KAMALI)
- 1993 中部建築賞(RFヤマカワ アネックス)
- 1993 商環境デザイン賞(RFヤマカワ アネックス)
- 1994 こまつドーム(仮称)提案競技入選
- 1995 岐阜県国際女性の夢づくり・住まいづくり設計競技優秀賞受賞
- 1995 ハウジング・アンド・コミュニティ財団若手デザイナー助成に選出
- 1995 前橋市千代田町二丁目 8 番商店街地区第一種市街地再開発設計競技一等
- 1995 但馬ドーム設計競技入選
- 1996 SDレビュー入選(タウンセンターH)
- 1999 商環境デザイン賞優秀賞(フォリオSC板倉)
- 1999 江東区東雲地区開発事業 E 街区設計プロポーザル選定(ワークステーションと協働)
- 2000 JIA 日本建築家協会新人賞(NT)
- 2000 神奈川建築コンクール優秀賞(SK)
- 2001 日本建築学会作品選奨(NT)
- 2002 白石市鷹巣第 2 団地シルバーハウジングプロポーザル選定
- 2002 千葉市優秀建築賞(NT)
- 2002 日本建築士会連合会優秀賞(日本基督教団ユウカリが丘教会+光の子児童センター)

■著 書

- 1998 年『弧の集住体』(共著:渡辺真理・木下庸子)
- 2000 年『住宅という場所で』(共著:渡辺真理・木下庸子・他) 他多数



『青森での一年を 振り返って』

青森に赴任してあつという間に1年が経ち、今ではすっかり青森暮らしを満喫している。家族は恵まれた自然環境と新鮮な食べ物がお気に入りの様であるが私はなんと言っても津軽弁がおもしろい。私は津軽弁は昔から大好きであった。

もう何年も前だと思うが、一時期、伊奈かっぺいがテレビの全国ネットによく出ていた頃があった。はじめはあまり関心がなかったが、しゃべるのを聞いてみるとこれが面白い。話の内容ではなくて、私はその津軽弁がおもしろいというか、たまたま心地よかったのだ。

以後、伊奈かっぺいが出ていると自然と見入ってしまったが、そのうちぱったりと出なくなってしまった。そんな中、去年青森にきてみるとあの懐かしのかっぺいがテレビにたくさん出ているではないか。懐かしうれしかったが、最近ではかっぺいよりも黒石ハっちゃんとか、名前はわからないが、よくCMに出て「アルクあるじゃ～、チラシッこまで～に見てけれ～」と言っているあのおやじのほうがお気に入りである。

私は好きな津軽弁に囲まれて楽しんでいるが、生まれも育ちも東京の妻はそうではないようである。理由は言っていることがわからないから。

特に年配の人に話しかけられると聞き取ろうと真剣な顔になっている。向こうも地元の人間だと思ってコテコテの津軽弁で話しかけてくるから、これが強烈にわからない。何か質問されている時も、妻はわからないからヘラヘラと笑ってごまかしているだけだから、会話は成立しないし、きっと変な人だと思われているに違いない。↗



この冬も雪かき中の妻が雪捨て場に雪を持っていて、そこにいたおじいさんに何か言われていた。よく聞いてみると「そこに捨てると邪魔になるからもっと奥に持っていきなさい」と注意されていたのだが、本人は全く聞き取れておらず、私に「『いつも奥さんために雪かきして大変ですなあ』と誉められちゃった」と自慢げに言ってきた。

ここまで聞き取れていない人もめずらしいが、あと何年かして「～だはんで～」なんて平気で使いこなしていたりしたらおもしろいと思う今日この頃である。(T)

新入会員のご紹介

平成 16 年 7 月に新しく入会された会員の方をご紹介します。

山村 朝子さん (株) ノムラアクト東北

青年委員会の活動へ積極的にご参加くださいますよう、お願いします。

7月定例会のご案内

今月の定例会はビアパーティです。

大いに親睦を深めましょう!!

日 時 平成 16 年 7 月 16 日 (金) 18 : 00～

場 所 ホテルJALシティ青森 TEL:732-2589

会 費 3,000円 (当日徴収)

締 切 平成15年7月14日 (水)

連絡先 青森支部事務局まで TEL:773-2878

FAX:723-7105

E-Mail : receipt@aaba.gr.jp

※ FAX で送信の場合は、下記フォーマットをご利用ください

青年委員会 7月定例会 7月16日 (金)

(出席 ・ 欠席) どちらかに○をつけてください

氏名

TEL